

【プレスリリース】

【2/14 (金)メディア&気象予報士向け オンライン勉強会】
気候変動リテラシーと視聴率の向上を両立するお天気コーナーの挑戦
～フランステレビの成功事例と日本メディアに始まる変化～

一般社団法人Media is Hope
2025/1/22

フランス公共放送で気候変動報道を主導するオードレ・セルドン氏、昨年から天気予報で「温暖化指数」を取り入れた正木明氏、毎日の天気予報で発信する東海林克江氏から国内外の先進事例を紹介！

【メディア&気象予報士向け勉強会】
2025年2月14日（金）20:00~21:30 @オンライン

気候変動リテラシーと視聴率の
向上を両立するお天気コーナーの挑戦
～フランステレビの成功事例と日本メディアに始まる変化～

フランス公共放送
「France Télévisions」
気候変動報道担当
オードレ・セルドン氏

朝日放送
「おはよう朝日です」
気象キャスター
正木明氏

J-WAVE ニュースルーム
アナウンサー
東海林克江氏

Media is Hope

<<申し込み締め切りは2/13（木）23:59まで：<https://forms.gle/DiutFr5onGukQD1s5>>>

フランスでも日本でも、天気予報／気象キャスターは、共通して人気がある。

気象情報と気候変動を掛け合わせた発信で視聴率を上げ成功に導いたフランス公共放送の気候変動報道担当者から、お天気コーナーの取り組みを日本メディア向けに紹介。また国内では、「温暖化指数」を使った天気予報を始めた正木明氏、ラジオの天気予報で1日2回「気候変動発信」を主導する東海林克江氏から、気象と気候を関連づけた発信のロールモデルを解説。

先行事例を実現したプロセスや課題から、気候変動時代における天気予報の役割を探る。

■ 詳細情報はPR TIMESにて掲載：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000017.000128060.html>

<<開催概要>>

- 日時：2月14日（金）日本時間20:00～21:30
- 主催：一般社団法人Media is Hope
- 共催：チームWFCC（Weather Forecasters against the Climate Crisis）
- 対象：メディア関係者、気象予報士・気象キャスター
- 定員：オンライン300名(定員になり次第で締切)
- 申込：無料 <2/13(木)23:59申込締切>
- 申込フォーム：<https://forms.gle/DiutFr5onGukQD1s5>



■ タイムライン：*登壇者/内容は調整が入る可能性があります

20:00-20:05	オープニング（趣旨説明&登壇者紹介）
20:05-20:20	オードレ・セルドン氏の講演動画を視聴（日本語字幕付き） 「 Elevating Climate Change for Better Weather Reports 」
20:20-20:50	オードレ氏への質疑応答（逐次通訳付き）
20:50-21:05	正木明氏による「おはよう朝日」での 「温暖化指数」を用いた天気予報の事例について
21:05-21:10	東海林克江氏による「J-WAVE」での 日々の天気予報での気候変動発信について
21:10-21:25	正木氏・東海林氏への質疑応答
21:25-21:30	クロージング（主催者挨拶）

■ 登壇者：

<オードレ・セルドン氏>

France Télévisions（フランステレビジョン）「Journal Météo-Climat」気候エディター

- 2007年に独立系ニュースサイト「Rue89」でビジュアルジャーナリストとしてキャリアを開始。その後、週刊誌「Le Nouvel Obs」でチームを率いた後、公共ニュースサイト「Franceinfo」の編集長に就任。2022年には、気候危機報道を強化するための気候科学者ネットワークであるフランスの非営利団体「Expertises Climat」で活動する。その後「France Télévisions」に入社、2023年に「Journal Météo-Climat」を立ち上げる。従来の天気予報を進化させ、日々の天気を気候変動の文脈で報道する番組へと変革し、視聴者にも歓迎された。その後、同局のニュース部門の気候・環境編集者に任命。1つの番組の枠を超え、ニュースルーム全体の気候変動報道を監修する。2024年には「Covering Climate Now」から「今年のジャーナリスト」に選出された。

<正木 明氏> 朝日放送「おはよう朝日です」気象キャスター

／気候危機に関する気象予報士・気象キャスター共同声明 呼びかけ人

- 気象キャスターとして天気予報を担当する傍ら、防災士の知識を活かして自然災害から命を守る情報を発信。防災やSDGs、気候危機に関する講演活動も行い、情報サイト『正木明のSurvival Labo』を運営している。2022年からは気候危機をテーマにした子ども向け出張授業プロジェクト『地球ラボ』を開始。2024年には呼びかけ人として『気候危機に関する気象予報士・気象キャスター共同声明』を発表。賛同する気象キャスターで「チームWFCC」を結成し、気候危機との関連性を含めた気象情報の発信に努めている。

<東海林 克江氏> J-WAVE ニュースルーム アナウンサー

- フリーアナウンサー。気象予報士。防災士。IBC岩手放送アナウンサー、テレビ東京アナウンサーを経てフリーランスに転向、J-WAVEニュースルームにてニュース・天気予報・交通情報などを担当。『気候危機に関する気象予報士・気象キャスター共同声明』にも賛同し、同局にて昨年8月にスタートした、天気予報のコーナーで気候変動に対する注意を呼びかける「気候変動へアクション！WEATHER INFORMATION」を主導。気候変動に関する情報だけでなく「一人ひとりにできること」も併せて発信し、リスナーの意識変革、行動変容に尽力している。

ご登壇の3名から、視聴者の関心を惹きつける工夫や放送後の反響なども交えて今日までの取り組みや課題をご解説いただき、気候変動時代における天気予報の役割と未来像を探ります。気象と気候を関連づけた発信のロールモデルとなる事例から、今後の気候変動報道の指針となるようなアイデアをお持ち帰りいただけましたら幸いです。

■共催：チームWFCC (Weather Forecasters against the Climate Crisis)

在京キー局、全国で活躍する気象予報士・気象キャスター44名が賛同した【[気候危機に関する気象予報士・気象キャスター共同声明](#)】の賛同者で発足した気象予報士の連携グループ。「日常的な気象と気候変動を関連づけた発信」で命と未来を繋ぐ活動をしています。賛同していただける気象予報士・気象キャスターの皆さま、そして、メディア関係者の皆さま、様々なステークホルダーの皆さま、ご連絡お待ちしております。国内外の専門家や各メディアとの連携、協力を強化し、気象予報士・気象キャスターが気候危機解決への架け橋になります。お問合せ：weatherforecaster.climate@gmail.com

■主催：一般社団法人Media is Hope

気候変動を解決できる社会を実現するために、気候変動報道強化に繋がるさまざまなサポートを行う非営利型一般社団法人。気候変動の本質的な解決を目指して、メディアや市民、企業やあらゆるステークホルダーが共創関係を築く架け橋となる。また、媒体や系列を超えたメディア連携プラットフォームを立ち上げ・運営をしている。HP：<http://media-is-hope.org>

気候変動解決に求められる報道の在り方を議論する【[気候変動メディアシンポジウム](#)】や、環境省後援【[みんなでつくろう再エネの日！](#)】を主催するなど、各ステークホルダーが繋がり共創する場を提供。

問い合わせ先：contact@media-is-hope.org

一般社団法人Media is Hope 共同代表 西田吉蔵/名取由佳 宛